


今回の瓦版は、会員以外の世帯にも
配布させていただいています！

* 瓦版は、3月25日・7月25日・11月25日の年3回の発行です。

* 本瓦版(pdfファイル)は、携帯ホームページ「富田林寺内町の探訪」からダウンロードすることもできます。

第65号 発行・編集：富田林寺内町をまもり・そだてる会／じないまち交流館 富田林市富田林町9-29(じないまち交流館) 平成28年11月25日 (1)




寺内町

瓦版 / 65号

題字 / 井上 颯太さん 7歳 (東林町)

JINAIMACHI KAWARABAN Vol. 65



まもり・そだてる会 理事・会員見学会 〈奈良市ならまち周辺〉

今年の夏は長くて、ツアアの当日9月11日(日)も、暑い日でした。にもかかわらず、「ならまち」には人がいっぱい賑わっていました。東大寺や興福寺、春日大社などのビッグな観光資源をバックに持つ強みでしょう。じないまちで店舗を構える私は、「ちよつと羨ましいなあ」と思ったり、自分たちの自慢の町をたくさんの方が「いいなあ」と思ってみてくださるのうれしきことだなあと感じたり。

参加者17名だったため、ゆつたりとして快適な観光バスに乗せていただいていた、奈良まではほんの一走り。意外に近くて、奈良と寺内町は連係ができるかもと、淡い期待。

世界遺産の奈良を自由に見学する時間があった、「ならみ小鍋」や奈良漬などを賞味。

観光ボランティアさんが迎えに来てくださって、2時間半の町歩きに出発。

「ならまち」は、以前には、言葉は悪いですが、キンキラキンの観光地によく似合う作り所から出たお店がいろいろあって、近々、自分たちの町も一度見直そうという運動が起り、町は落ち着きを取り戻したという噂を聞いていました。私も20年ぶりくらいに再訪させていただきましたが、ああ、よかったと胸をなでおろしました。やっぱり、歴史を感じさせる古民家群を生かしたまちづくりが素晴らしいし、それを求める人々も多いことと思います。

町の成立のもとになった元興寺さんは、その歴史的な意義も深く、見どころも多く、町の中を歩くとおられるのがよくわかります。



ならまち 元興寺(極楽坊)にて

以前に訪れた時には、あちこちが崩れて寂しさを感じましたが、真つ新みたいにかわいらしい。まうのではありません、程よく修復がされているところに、この町の人たちの知性や感性を感じました。萩や桔梗などの花も、そここに風情よく配されて美しく、いいお寺でした。

町には、内部を見学できる古民家も数件あって、職員の説明で昔の暮らしをかいま見ることでもできました。なにより羨ましいと思つたのは、酒造りが今も続いている試飲などもできる店があり、伝統的な奈良さらしのお店や昔の薬屋さん、豆腐屋さんなどがそのまま残っていること。昔ながらの伝統的な業種やお店は「町中博物館」の木でできた看板を掲げて、その伝統を来訪者に文化として伝えていきます。

そして、新しいお店も、この町の特性を生かした商品や店づくりを志向しています。ツアアのメンバーさんも、ご家族から頼まれた「酒粕チーズケーキ」のお店を見つけて、お土産ゲット。とても満足げ(笑)。

町固有の文化の庚申さんの身代わり猿が、あちこちで見られ、町に風情を添えているのも素敵。来訪者にやさしい「おたずね処」の提灯や、民間のおもてなしトイレの取り組みも素晴らしいと思えました。

じないまち交流館自主事業
2016年冬ワークショップ
「羊毛フェルトでコースターを作ろう」



針も糸も使わないで作ります

日時：2016年
10月12日(水)～12月27日(火)
10時～16時
(交流館定休日以外随時)

場所： じないまち交流館

参加費： 一枚 100円

じないまち四季物語 秋
「第10回後の雛まつり」点描
2016年10月8日(土)開催



興正寺別院 御成門



仲村家住宅

最近話題になつている、観光案内所と、かまどでご飯を炊く食堂とグロスリーの店、喫茶の複合施設「鹿の舟」も奈良では定評のある「くるみの木」のプロデュースで、ここに行くために「ならまち」を訪れる人もいろいろいます。新たな観光資源となつていきます。

伝統に新しいものをプラスして、さらに素晴らしいものを作り上げてゆく。ならまちの試みは、とても参考になりました。

(茶事・茶会・茶懐石料理 峯風庵 森 由紀子(御坊町))



ならまち の街角にて


「寺内町四季物語2016夏 第13回寺内町燈路」報告

今年の寺内町燈路(主催：じないまち四季物語実行委員会、共催：当会、観光協会)は8月27日(土)に実施されました。当日は台風の影響か、残暑にも関わらず雲が広がって多少涼しく感じられる気候でした。

夕方になると寺内町燈路見物の沢山の来場者がお越しになり、午後六時半頃には、寺内町とその周辺に約1000基の行灯が並べられ、一斉にローソクに灯が入れられると、美しい町並みが映し出されました。会場内では、浴衣姿の人達や外国から来られたグループが写真やビデオにその美しい風景を写しておられました。また、寺内町の各所ではさまざまなイベントが行われ、旧杉山家では「夜の開館」、旧田中家では「中国伝統楽器によるコンサート」、本町公園では「花行灯、尺八・三味線の演奏」、みんなの広場では「子供縁日」等、多くの人で賑わいました。

当日の参加者は4,800人(四季物語実行委員会発表)でした。

(事業部会)



「第7回 寺内町月見の会」報告

暑さが和らぐ秋はお月見の季節です。今年も9月15日(木)に展望広場にて、「寺内町月見の会」が会員相互の親睦行事として開催されました。

今年は、台風の影響か朝から薄曇りで小雨がぱらつくお天気のため、展望広場のあたり一面が薄暗くなった夕方の六時過ぎには、真ん丸な山吹色をしたお月様がちらっと見えました。その後、開催時間中お月様は雲間に隠れたままでしたが、それでもたくさんの会員が参加され、用意されていた150個の月見団子は、子供達やご家族の方々でおいしく頂き、盛況の内に「寺内町月見の会」を終えることが出来ました。皆さん、ご支援、ご協力ありがとうございました。(事業部会)



7月23日(土)に「富田林寺内町の歴史講座と町並みツアー」を開催しました！

今年も昨年に続き、じないまち交流館の自主事業として、市文化財課の森口博正氏のご協力を得て実施。当日は好天に恵まれ、河内長野市や堺市、泉大津市等から、途中参加のフランス人3名を含め、計13名の参加者があり、盛況の内に終えられました。参加者からは、歴史のことがよくわかった、楽しかったと好評でした。今後も随時開催したいと思っております。

(じないまち交流館 中井隆洋)

富田林寺内町 来訪者 歓迎キャンペーン

こんにちは! 笑顔であいさつ 歓迎を

寺内町、食へる記(1)
=おいしい店の紹介

前回までは、寺内町見てある記(寺内町の良さ再発見)を書きまわりましたが、今回から、寺内町食へるある記(おいしい店の紹介)を何回かに分けて書いてみようと思います。

昭和の初期から昭和40年代には、寺内町には「うどん屋」「そば屋」「割烹料理店」等のおいしい食べ物を提供してくれるお店がありました。

現在では、町屋を改装した「お食事処」があります。それらのお店の昼食を食べ歩き味趣(ミッシュラン)ガイドを作ってみようと思いました。

第一回として、「寺内町きつちん あい」さんを訪問しました。

(1)寺内町きつちん あい
寺内町交流館前の通りを東に少し進み、城之門筋を過ぎた南側にお店があります。

入り口の格子戸を開けて中に入ると美味しい匂いが迎えてくれます。玄関の先が調理場になっていて、そこから美味しい匂いがただよって来るようです。

玄関の左側がお食事をする処で今回訪問したときも三組のお客様が居られました。

ここは町屋を改装してお食事処としたお店で、開店日は2013年3月15日、店主は「今西和子」さんというかわいらしいおばちゃんです。

営業時間は「ランチ 11時〜15時」「カフェ 14時〜17時」で、定休日は火曜日及び水曜日です(臨時休業があるのを0721(26)7168)に確認する方が良いでしょう。

お店の名前の由来は、「今西」をローマで書くと「imani shi」となり、その最初の文字「I」からつけられました。

寺内町を選ばれた理由についてお尋ねすると、「この町は落ち着いた町並みであること、気分よく雑音から遠ざかることが出

来、この町に在ると時の流れが穏やかに感じられること、町家の空間から木造のもつている温かみを感じられるからです」と答えられました。さらに「町家の中に入ると心が和む景色があり、心が休まる落ち着いた気分になります。また、来て頂けるお客様にゆったりとした空間で、ゆったりとした時間を過ごして頂きたいと思っています。

若い人たちが実家に帰ってきた気分になってもらえそうなのも気に入りました」とのことでした。

お店のメニューは以下のとおりです。

- ・煮込みハンバーグランチ
- ・週替りランチ
- ・あいちちゃんのミニバーガーセット
- ・バナナケーキ
- ・さつまいもケーキ
- ・各種ドリンク及び缶ビール

一番の人気メニューは煮込みハンバーグランチだそうです。

野菜は地産地消を心がけておられ、富田林市、河南町、河内長野市の農家から直接購入されているものと、道の駅で購入されているものがあります。

また、煮込みハンバーグのお肉は西板持の丸喜多さんでお店用に特別に作って頂いているとのことでした。

今回その一番人気を頂きました。一口食べた新鮮な野菜の甘みとハンバーグにお箸を入れたときに流れ出てきた肉汁を見て「これはうまい」と思わずさげんでしまいました。

家族でこられるお客様の中で、子供さんが野菜が甘くて美味しいというパクパク食べられるので、お母さんがびっくりされる様です。そのため、調理方法のリクエストが非常に多いとのことでした。また、月に二回の料理教室も開催されている様です。興味のある方は参加されてはいかがでしょうか。

写真は頂いた「煮込みハンバーグランチ」と「あいちちゃんのミニバーガーセット」です。



煮込みハンバーグランチ (¥980)



あいちちゃんのミニバーガーセット (¥800)



店主の今西さん



お店の入り口

(広報部会 田中新之助)

まもり・そだてる会活動報告

月	日	会議/事業名	内容
7	24	事業部会	・寺内町燈路のお知らせ、半紙等の配布希望調査の件
	27	交流館管理運営委員会	・開館以来の指定管理期間について ・指定管理業務に関わる書類について
8	4	役員会	・各部会報告、交流館運営委報告・会則改正案の件 ・月見の会、富栄戎神社修理・理事/会員見学会の件
	9	理事会	・各部会報告、交流館運営委報告・会則改正案の件 ・月見の会、富栄戎神社修理・理事/会員見学会の件
	28	事業部会	・寺内町燈路の片付け・月見の会について
9	4	企画部会	・企画部会事業計画
	7	研修部会	・9/11の理事/会員見学会の参加者確認と役割分担
	8	役員会	・各部会報告・寺内町燈路の総括 ・月見の会について・指定管理者制度について
10	6	役員会	・各部会報告(理事/会員見学会の会計報告等) ・月見の会総括・企画部会事業計画について
	9	企画部会事業	寺内町お店めぐり(理事対象、案内:佐藤康平氏)
	20	広報部会	・瓦版65号確認、印刷、配布について ・瓦版66号原稿について
11	3	企画部会事業	寺内町町屋めぐり(理事対象、案内:奥谷直也氏)
	10	役員会	・各部会報告(企画部会・事業部会からの報告等) ・新春初鍋めぐりについて

★ 富田林じないまちボランティアガイド 会員募集!!

昔ながらのたたずまいが残る歴史的な町並み。私達は、歴史と文化が調和した賑わいと落着きのあるこの素晴らしい町並みを多くの皆様方知って頂き、また後世に伝えていきたいと思っています。

今回、富田林寺内町に在住または勤務されている方を対象に、「ボランティアガイドの会」の会員募集を致します。

詳しくは、じないまち交流館までお問い合わせください。

富田林市立じないまち交流館 ☎0721-26-0110
富田林じないまちボランティアガイドの会



☆ 交流館だより ☆

◎ギャラリー展示予定

- 十一月一日〜十一月十五日 井元ミツ子 浮世絵・童画作品展
- 十一月十六日〜十一月十五日 富田林幼稚園 皿・茶碗・絵画作品展
- 一月十六日〜一月三十一日 出展者募集中(十二月二十七日まで) 土筆の会 書道作品展
- 二月一日〜二月二十八日 じないまち交流館 お雛さま展示
- 三月一日〜十五日 三人展の会 絵画・陶芸・とんぼ玉展

編集雑感

8月に大学生スカウト(ボイススカウト)では、18才〜25才のスカウトをローバースカウトといいますが、5名と広島方面へ4泊5日のキャンプに行っていました。

キャンプの設営、食事の準備などは経験豊富なローバースカウトなので、私は見るだけ、そして食べるだけの何ともお気楽なキャンプです。

小学生、中学生スカウトのキャンプではそうはいきません。小学校低学年から彼らを指導し、その成長を見てきた私にはまぶしくて、頼もしく思えます。

キャンプの楽しみの一つに、自然に囲まれた中、星空の下、静かに仲間と語り合うことがあります。寝食を共にしてきた若い仲間たちの話を聞くのは、とっても楽しいものです。そして、おじさん(おじいさんかな?)のつまらない話を真剣に聞いてくれる彼らに感謝。

このキャンプ中にぜひ訪問したいところがありました。原爆ドーム、原爆資料館、そして自衛隊第一術科学校(旧江田島兵学校)です。多数の市民が犠牲になった惨状、そして、彼らと同世代だった若者が戦地に送られ戦死した事実を目の当たりにして、見学後の心は、一言に無言でありました。若者たちにはぜひ一度は訪れてほしいところです。仲間の絆をさらに深める、充実した楽しいキャンプでした。

(堺町 和田孝雄)

広報部会

- 部長 中井隆洋
 - 副部長 田中新之助
 - 委員 大塚健治
 - 委員 柳本幸雄
 - 委員 和田孝三
 - 委員 尾谷正勝
 - 委員 井上正勝
- (順不同)